

令和 2 年 度

健康福祉サービス自己評価結果報告書

報告書の内容

添付書類	添付した書類に○を記入
チェック済評価基準	○
評価基準概評	○
サービス改善計画	○

施設・事業所名： 児童発達支援・放課後等デイサービス
ハイタッチ

健康福祉サービス自己評価実施状況報告書

令和 3 年 4 月 25 日

滋賀県健康医療福祉部障害福祉課長 あて

(所在地) 〒520-0846 大津市富士見台54-40
(施設・事業所名) 児童発達支援・放課後等デイサービス
(代表者職・氏名) **ハイタッチ**
代表取締役 **富元重幸**

健康福祉サービス自己評価を、「本県における健康福祉サービス評価システムの推進について」により実施しましたので、下記のとおり報告します。

記

- 1 施設・事業所の名称 **株式会社 ピースラボ**
児童発達支援・放課後等デイサービス
ハイタッチ
- 2 評価基準およびサービスの種別 (該当の記号に○印を付し、サービスの種別を記入)

○評価基準

- ア 障害福祉サービス共通評価基準① [障害者 / 施設、グループホーム]
(種別:)
- イ 障害福祉サービス共通評価基準② [障害者 (児) / 在宅]
(種別:)
- ウ 放課後等デイサービス自己評価表
- エ 児童発達支援自己評価表
- オ その他の評価基準 (具体的に:)

※種 別 (記入例: 就労継続支援 B 型)

- 3 自己評価の実施時期 (自己評価結果をとりまとめた時期)

令和 3 年 4 月

4 県のホームページで、自己評価を実施した施設・事業所の名称、所在地、実施時期、事業所での評価結果の公表の有無を情報提供することについて

提供してもよい

・

提供しないでほしい

5 自己評価結果の公表の有無（該当するところを○で囲む）

- | | | | |
|-----------------|----|---|-----|
| ①市町への送付 | した | ・ | しない |
| ②滋賀県健康福祉事務所への送付 | した | ・ | しない |
| ③県庁障害福祉課への送付 | した | ・ | しない |
| ④施設・事業所内での閲覧提供 | した | ・ | しない |
| ⑤インターネットのホームページ | した | ・ | しない |
| ⑥その他の方法での公表 | | | |

（具体的に：

）

6 サービス改善計画の公表の有無（該当するところを○で囲み、括弧内に記入）

- | | | | |
|-----------------|----|---|-----|
| ①市町への送付 | した | ・ | しない |
| ②滋賀県健康福祉事務所への送付 | した | ・ | しない |
| ③県庁障害福祉課への送付 | した | ・ | しない |
| ④施設・事業所内での閲覧提供 | した | ・ | しない |
| ⑤インターネットのホームページ | した | ・ | しない |
| ⑥その他の方法での公表 | | | |

（具体的に：

）

7 自己評価を実施して感じたこと、評価基準・ガイドライン等への意見やサービス評価について今後望むこと

障害福祉サービス共通評価基準 概評 [各シート共通]

○概 評

①非該当とした項目（放課後等デイサービス、児童発達支援については「いいえ」とした項目）の説明、②独自に必要なと思われる評価項目等、③項目評価を通じて気づいた点などを記入してください。

1. 保護者等からの事業所評価について

活動等のスペース確保とバリアフリー化の配慮については、「どちらともいえない」の回答が多いが、ハード面の改善には限界も感じている。職員の配置数や専門性については、「はい」が多いが「どちらともいえない」も少なからずあり、保護者等から十分な理解を得られていない現状を認識する。「適切な支援の提供」については、概ね理解を得ているが、放課後児童クラブ等との交流については実施出来ていない現実がある。「保護者への説明等」では、父母の会の支援や保護者同士の連携に対する支援について、「はい」は一名だが保護者会の開催を望まない意見もある。苦情対応については、まだ十分な理解を得ているとは言えない。非常時等の対応では、保護者等に十分な周知が出来ていない面を感じる。「満足度」については、全体的に良い評価を得ているが、支援内容として勉強面のサポートを望む声もある。

2. 事業所における自己評価について

「環境・体制整備」では、職員の配置数については適切だが、バリアフリー化の配慮に関して改めて検討を要する。「業務改善」については、パート職員を含めた全体ミーティングの日常的な充実の必要性がある。「適切な支援の提供」に関しては、職員全体での情報交換と意思疎通を更に図っていくことが不可欠。特に、正職員とパート職員との連携がより必要である。「関係機関や保護者との連携」では、引き続き積極的な連携が欠かせない。「保護者への説明責任等」については、職員間の共通認識がより図られているが、その迅速性をより大事にしてほしい。「非常時等の対応」では、「緊急時対応マニュアル」の全職員間での徹底を更に推進してほしい。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公)

公表: 令和3年4月25日

事業所名 放課後等デイサービス 1Mアック

保護者等数(児童数) 33 回収数 24 割合 73 %

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9	12	3		・この日の利用人数が不明なので分かりにくい。・人数が多い。	※ 以下各紙①参照
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	15	9	0		・この日の児童数と職員数が合わない。	
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	12	2		・2階への手摺が全部取れずと思う。	
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	19	5	0		・平日常の内容が分かり難い。	
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	16	7	1		・週一回利用の為何にものか?	
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	11	9	1	・週一回利用の為何に、何もない。	
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	22	2	0			
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	20	4	0			
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	20	4	0			
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	10	13		・この日の状況について説明が難しいので、開催はできず。	
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	9	0	1		
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	21	3	0			
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	18	5	1			
	14	個人情報に十分注意しているか	20	4	0		・よく知らない。	
非常時 等の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	11	8	5		・感染症対応のマニュアルについては知らない。	
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	10	3		・分からない。	
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	19	5	0		・勉強会のサポートを要する。	
	18	事業所の支援に満足しているか	21	2	1		・前から満足している。	

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

・子どもの発育と成長を支援している。

別紙①

令和二年度 保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)
ご意見を踏まえた対応

放課後等デイサービス ハイタッチ

- ①.法令等に遵守したスペースを確保しております。
- ②.利用人数に応じて法令で必要とされている職員以上に人員を配置いたしております。
- ③.“階段の手すり(追加)・トイレ内手すり・玄関手すり(施設内下駄箱前)”の三か所の手すりの設置を予定しております。建物の構造上バリアフリー化が難しい所もございますが、より子どもたちが過ごしやすい環境にできるよう努めてまいります。
- ⑤.多様な活動が出来るように複数の職員でプログラムの立案を行っております。
- ⑥.現状では特に行っておりません。
- ⑦.契約時に説明しておりますが、変更等があり次第速やかに説明を行うよう心がけております。
- ⑩.保護者同士が連携・意見交換ができる機会を現状設けてはおりません。
- ⑪.苦情やご要望を頂きました際には報告書にまとめ職員で共有し、今後どのようにしていくか検討を行い返答させていただいております。今後ご意見いただいた際には早急な対応ができるよう努めてまいります。
- ⑬.広報誌(ハイタッチだより)の発行頻度(現在 4 半期 1 回)をあげ(1 月 1 回～1.5 月 1 回)より分かりやすくできるようにしてまいります。
- ⑮.各マニュアルをしっかりと策定し必要に応じてマニュアルの拡充を行いその都度広報誌にて記入・周知していただけるよう努めてまいります。
- ⑯.年 2 回の避難訓練・年一回の救急救命講習をしっかりと行い、皆様に万が一の場合にもスムーズに避難行動・誘導できるよう継続して行ってまいります。
- ⑰.子どもたちに「無理なく楽しく今を笑顔で」というハイタッチの理念のもと、“支援に満足しているか”の項目が はい の欄にご回答いただけるよう努めてまいります。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年4月25日

事業所名 放課後等デイサービス ハイタッチ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	1	0	・2階や敷地内駐車場の活用。	
	2	職員の配置数は適切である	5	0	・加配を要する場合はシフトに反映。	・長期休暇中は、少し多目の配置が必要。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	0		・出入口の階段やトイレにフリスを検討していく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	0	・朝と昼のミーティングを実施している。	・パート職員を含めた全体ミーティングを増やし、次の内容を充実させる。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	・保護者へのアンケートを元にしていく。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	4		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	0	・全職員がバランスポイントに参加。	・引き続き、外部研修に積極的に参加していく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	0	・日誌管理が全職員の意見を反映する。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	0		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	0	・日々のミーティングを充実させる。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	0	・毎月1度大きな行事(所外)を実施。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	0	・「おタイム」、工作を取り入れる。	・休日や長期休暇中は、引き続きバリエーション豊かな屋外活動を計画。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	2	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	0	・午前中に有効活用(長期休暇中は不可)。	・パート職員との情報交換と意思疎通をもっと図っていく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	0	・翌朝に多くの時間を確保。	・帰宅したパート職員との、次の日の振り返りの共有。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	・日誌や連絡帳の裏面に記録。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	2	0			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	0	・送迎時の 下校時刻の 確認や トラブル発生時の 対応に 確認 を 取る。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	2		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	0		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	2		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	0	・発達障害者 支援センターから 助言を受けている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	3		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	0		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	0	・送迎時の 意識的に 行っている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	1		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	・相談内容を 即座に的確に 保護者に 伝える。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	4		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3	0	・苦情の内容に よるに、その日 の内に 対応している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	・「ハイタッチ」 ぶらりやフェイス ブックを活用。	
	35	個人情報に十分注意している	5	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	4		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	0		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	0	実際の訓練に消防署の参加依頼。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	1	0		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	0		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	シートを作成し全職員に自習。	より良い緊急時対応マニュアルや救急マニュアルを作成し、全職員のリスクマネージメント意識を高める。

○サービスの質の向上に向けて取り組む課題

前回までの評価において、サービスの質の向上に向け取り組む課題を設定している場合はその内容と進捗状況を、また、新たに今回の評価によって今後取り組むべき課題がある場合も、その内容を記入してください。

関連する項目	内容および進捗状況	新規 継続 終了	取り組みの期間 (○年○月から○年○月まで)
職員の支援技術向上	<ul style="list-style-type: none"> 内部研修の充実・外部研修への参加 より知識を深める環境づくり。 	継続	R3年4月から一年間
マニュアルの更新・拡充	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの感染拡大等 社会状況に合わせてマニュアル変更を 随時行う。デジタル化。 	継続	R3年4月から一年間
多様なサービス(ご利用)	<ul style="list-style-type: none"> 受け入れの幅を広げ、ニーズに 合わせて受け入れ体制を整える。 	継続	R3年4月から一年間
第三者の意見を取り入れる	<ul style="list-style-type: none"> 異業種の方についても、意見を 聞く。 	継続	R3年4月から一年間

サービス改善計画書

策定日：令和3年4月25日

事業・サービス名 児童発達支援・放課後等デイサービス

施設・事業所名：ハイタッチ

自己評価項目	評価結果	問題点・課題	改善内容と目標	時期と期間	責任者	備考 (必要な予算等)
		① 職員同士の連携	「報道相」の徹底	1年間	富元	
		② 職員の資質向上	各研修への意識的参加 毎日のミーティングにおける「振り返り」の充実(相互点検)	1年間	富元	
		③ リスクマネジメント意識の向上	「ヒヤリハット集」「事故報告書」の再作成	1年間	山田	
		④ 衛生管理の徹底	感染症予防対策の強化	1年間	岩瀬	
		⑤ バリアフリー化	トイレ・階段・玄関の手すり	1年間	池本	
		⑥ 各種マニュアルの周知	避難訓練等では保護者に事前・事後文章を出す	1年間	岡崎	